

# 校内研修計画

甲州市立勝沼中学校

## 1 学校課題

### \*地域の概要

甲州市勝沼は、山梨県甲府盆地の北東部に位置し、肥沃な平地、扇状地、山間部からなる自然豊かな地域である。「ぶどうとワインの町勝沼」が示すとおり、ぶどうを中心とした果実栽培は歴史も古く、全国でも有数の生産量を誇っている。新品種栽培、ハウス栽培など近代的経営も意欲的に行われ、活気にあふれている。

本学区は、かつての甲州街道の宿場町として繁栄した勝沼地区と、農業的性格を持つ祝地区、東雲地区、菱山地区の4地区から成り立っている。また、藤切祭やぶどう祭り、フルーツマラソンなどの地域行事を通して、地域と学校の連携も図られている。保護者は教育について関心が高く、学校教育への理解と協力も得られている。

### \*今日の課題から

近年、子どもたちを取り巻く環境のめまぐるしい変化と、価値観の多様化の中で健全な心と社会性を持った、人間性豊かなたくましい人づくりが課題となっている。こうした中、児童生徒が社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつ、たくましく対応し、主体的によりよく生きる力や、人間として人間らしく生きる豊かな心が強く求められている。

### \*本校の生徒の実態から

本校の生徒は明るくとても素直である。生徒会活動や部活動にも熱心に取り組んでいる。特に、生徒会本部が中心となり「あいさつ運動」に力を入れ取り組んでいる。また、学習面では、授業にまじめに取り組む生徒が多い。一方で、教師の指示がなければ行動できない生徒や家庭学習の定着などの課題があげられる。

## 2 研究主題

自ら考え、判断し、行動できる勝沼中生徒の育成

～ 互いに認め合い、支え合う集団づくりを通して ～

## 3 主題設定の理由

中央教育審議会 新しい義務教育を創造する（答申）の中で「子どもたち一人一人が、人格の完成を目指し、個人として自立し、それぞれの個性を伸ばし、その可能性を开花させること、そして、どのような道に進んでも、自らの人生を幸せに送ることができる基礎を培うことは、義務教育の重要な役割である。自らの頭で考え、行動していくことのできる自立した個人として、変化の激しい社会を、心豊かに、たくましく生き抜いていく基盤となる力を、国民一人一人に育成することが不可欠である。」という記述がある。変革の時代、混迷の時代、国際競争の時代であるからこそ、一人一人の人格形成と国家・社会の形成者をいかに育成していくか、子どもたちに自ら考え、判断し、行動できる力、すなわち「生きる力」をどのように身に付けさせるかが、今の学校現場に求められている。このことは、新学習指導要領に対応し、山梨県教育委員会が示す「やまなし教育振興プラン」及び甲州市が推進している「確かな学力育成プロジェクト」にも大きく関わるものと考えられる。

“互いに高め合う「学級集団づくり」”をベースに、さまざまな角度から「生きる力」の育成にアプローチする研究を推進したい。学校生活において、さまざまな集団活動が展開されている。中でもその基礎である「学級集団づくり」については、Q-U検査を活用しながらより良い集団づくりを継続して目指したい。また「学年・学校集団」「学習活動における小グループ（小集団）」さらには「部活動集団」等々、さまざまな集団活動において、互いに認め合い、支え合う集団づくりを追究するとともに、子どもたちが「音・声」による自己表現力を活用しながら、主体的に考え、活動することにより豊かな心を育て、「生きる力」の育成を目指したい。

#### 4 研究の具体的内容与方法

(1) 領域別等研究会

- ・「確かな学力」育成プロジェクトに関わって、①授業づくり②集団づくり③家庭学習の領域3部会を校内研究の中に組織し、取組みの推進を図る。
- ・道徳教育の充実
- ・特別支援教育の実践
- ・読書活動の充実

(2) 学年別研究会

学年の実態を把握し、より良い学級・学年集団づくりの手立てを考える。Q-U検査を活用し、集団づくりに生かしていく。

(3) 教科別研究会

- ・自己表現力の育成
- ・個に応じた指導の実践（習熟度別授業、TT、小グループの活用など）
- ・言語活動の充実、読解力向上に関する研究
- ・基礎基本の重視、基礎学力の向上に関する研究と実践

#### 5 年間校内研修計画

研究主任 秋山達明

月	研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	TC 要請
4	研究主題および研究の方向性の決定		研究主任		
5	年間計画の決定 学年の実態分析 教科別研究テーマ等の決定 農業体験の実践 教育講演会 Q-U検査の実施	学年 教科 2年生 領域 全クラス	研究主任 学年主任 教科主任 2年主任	2年  全	外部講師
6	領域3部会研究	領域	領域部長		
7	Q-U検査の分析（K13法）	全クラス		全	
10	集団づくりに関する学習会 授業実践 領域3部会研究	領域  領域	授業作り部会		外部講師 指導主事
11	Q-U検査の実施 授業実践 キャリア教育の実践 集団づくりに関する実践	全クラス  総合 領域	授業作り部会	全	指導主事 外部講師
12	Q-U検査の分析	全クラス		全	
1	集団づくりに関する学習会 学年別研究会のまとめ 教科別部会のまとめ 領域3部会研究のまとめ	領域 学年 教科 領域	学年主任 教科主任 領域部長		外部講師
2	本年度のまとめと来年度の方向性		研究主任		